

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

一般 あきらめなかつた
つだつて(森光子) いつも僕
の中は光(梯剛之) 極北のラプ
ソディ(海堂尊) 遺体(石井光
太郎) いとま申して(北村薫)
はなちゃんのみそ汁(安武信吾
/ 安武千恵 / はな) 地下の鳩
(西加奈子) 幻影の星(白石一
文) 生きてるかい?(南木佳士)
児童書 図解絵本 東京スカ
イッリー(モリナガヨウ) キ
ヤベたまたんでいたこ焼きオリ
ンピック(三田村信行 / 宮本え

■みずうみ読書の家

つよし) かいつゾロリなぞ
のおたから大きくせん前編後
編(原ゆたか) かいつゾロ
リのまもるぜーきょうりゅうの
たまご(原ゆたか) ボクものが
たり(いもとようこ) アニマル
トラック&バードトラックハン
ドブック(今泉忠明) これだけ
は知っておきたいサッカーの大
常識(田嶋幸三 / 吉田昭彦) レ
インボー英和辞典(羽鳥博愛)
レインボー和英辞典(羽鳥博愛)
一般 天地明察 上・下(沖
方 丁) こぼん(吉村喜彦)
棟居刑事の使命の条件(森村誠



今月の1冊

「おっぱい
おっぱい」

わかやまけん(著)

1983(昭和58年)発行された絵本で
すが、ロングセラーで未だに母と
子に愛され続けている絵本です。

あかちゃんから幼児までお子さ
んを抱っこして読んで上げてくだ
さい。

お母さ
んにとっ
ても幸せ
な時間を
与えてく
れる本で
す。



(一) ほんとうのニッポンに出
会つ旅(藤本智士) 漏洩(笹
本稜平) 理系の子(ジューデ
イ・ダットン) すべては今日から
(児玉清) さよならクリスト
ファー・ロビン(高橋源一郎)
氷山の南(池澤夏樹)
ロータリー文庫 地熱のエネ
ルギー(江原幸雄) 自然災害
の恐怖(タイム社編) 日本地
方地質 4・5・6・8(日本
地質学会編) せいめいのはな
し(福岡伸一) 津波のまちに
生きて(川島秀一) 地層で見
方がわかるフエール図鑑(青
木正博他) 第四期(町田洋他)
地質ハンドブック 普及版(脇
田浩二他) 日本列島の20億年
(白尾元理) 地球の変動と生
物進化(沢田健他) みんなが
知りたい放射能のはなし(谷川
勝至) 巨大地震をほり起こす
(穴倉正展)
●開館時間
午前10時より午後4時20分
●7月休館日
7月12日・19日・26日・8月2日・
9日
(毎週木曜日・祝祭日休館)
あぶた読書の家 ☎76・2100
みずうみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】六月定例会より

青春とふあの日の風が吹き抜けぬ

坂を駆けゆく高校生の群れ

梅花見ごろと聞けばせかる年

ふりてものにしうとなりたる身さへ

このいのちあと幾春を経るかしら

めぐれる春ごと思いはつりぬ

母の日に娘らに貰ひしルージュつけ

久に会はざる友を尋ねる

短歌づくりは熟慮しつつも今日はまだ

しっくりいかぬ最後の七文字

青蛙体に合わせぬ大音声

晴れ渡る空に雨乞いのごと

俳句

【あぶた俳句会】六月定例会より

新樹光父の背丈をすぐに越し

注射打つ金環食の直中に

アスパラが季節の目盛りわが狭庭

仏殿の多き古本店黴匂ふ

靴底の黴がぎゅぎゅう泣きにけり

切る抜きほこり払えば黴匂ふ

赤塚 瑛子

山 木 孝

大 西 芳 子

北 島 加 代

太 田 智

元 田 フジ子

菅 原 敏 子

井 村 育 子

三 瓶 修

矢 野 知 子

小笠原 勇

那 須 伶 子

